

# 進路通信

豊中市立第十七中学校 1号 2022年4月12日



## はじめに



3年生進路担当です。担当教科は理科です。すでに知っている人も、ぜんぜん知らなかった人も、これから1年どうぞよろしくお願いします。

さて、3年生として新しいスタートを切って、4月もう半ばにさしかかっています。今日からは授業も始まり、いよいよ本格的に1学期が始まります。3年生といえば、修学旅行はもちろんですが、最高学年として創りあげる体育大会や合唱コンクールは特に思い出に残るものですね。今からワクワクしている人も、とても多いと思います。

一方で、“進路”や“受験”といった言葉をみなさんがよく聞く一年にもなります。時には不安になることもあるでしょう。自分がどこに向かって進んでいるのか（目標）を見失わずに、あるいは、その目標を見つけていくために、この1年を突き進んでほしいと思います。



## 進路通信について

この進路通信では、学校（種類・コースなど）や入試のこと、奨学金のことなど、みなさんにいろいろな情報を発信していきます。自分の進路を考えるにあたって、数多くの情報を入手することはとても大切なことです。

進路通信だけではなく、学年だよりでも学校の説明会や体験入学の案内の情報などが発信されます。2つとも、みなさんが自分の進路を考えていく上できっと役に立つはずですよ。

## 進路において

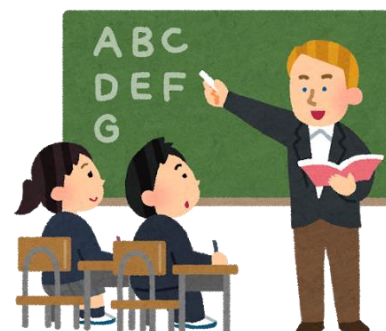
みなさんの前に突如現れた「進路」という2文字。いよいよ9年間の義務教育を終えて、将来に向けて自分で進む道を選択する 때가やってきました。

進路を選ぶ…というのは、ただ自分の今の力に合わせて、学校や就職を決めることではありません。「自分はどのように生きたいのか」「どのように働くのか」といった、“生き方”の問題なのです。そして、「自分で考え、自分で選ぶもの」です。誰かに決めてもらうものでもありませんし、時間が解決してくれるものでもありません。



また、「みんなが高校へ行くから、自分も行く」…というのも困ります。ほかの誰でもない、あなたが困るのです。これからの時代は、自分の頭で考えて、自分自身で判断することが重んじられます。自分の将来について、自分が責任を持って考え、決断できないようでは、これからの先々においても「こんなはずではなかった」と、挫折しやすくなるでしょう。

「学校に入学すること」「合格すること」よりも、「入学してからどれだけその学校で頑張れるのか」「何を学びたいのか」「充実した生活をおくれるのか」「どんなふう卒業できるか」が大切です。そのためには、「自分の力が十分に発揮できる場所はどこなのか」ということを考えていく必要があります。



英語学習に力を入れている学校、自分で授業を選んで時間割を作る学校、専門技術をつけるために工業・農業・商業に関する勉強をする学校など…学校にも様々な種類があります。

(裏面につづきます)



まずは自分のことを知ること。そして色々な進路先の情報を集め、実際に学校へ行ってみて、距離や雰囲気などを実際に肌で感じ、自分に合う進路先を見つけてください。進路・夢・生き方…言葉は難しいですが、そうやって自分が輝ける進路先を自ら探し、見つけていくことが大きな一歩になります。

## どんな進路を選んでも、学ぶ力は必要

学校へ入学することよりも、入学したあとが大切だと言いましたが、学校へ入学するには入学試験（入試）で合格する必要があります。中学以降の学校は義務教育ではないので、学校側が人を選ぶ立場にあることを覚えておいてください。どの道を選んだとしても、この中学3年間で身につけた学力や人柄が問われるのです。

入試ではみなさんが3年間で学習したことがどれだけ身についているかが試されます。3年生の内容はもちろんのこと、1・2年生で学習したことも試験として出題されますから、毎日コツコツと学習することが大切です。まだ学習の習慣がない人は、短い時間からでもかまいませんから、「いつ」「何を」「どれだけ」するのかを考えて、紙に書き出し、実行していきましょう。

## 時間を上手に作り出すこと

中学最後の年です。行事やクラブ活動に一生懸命取り組んでください。しかし、それを勉強できないことの言い訳にしてはいけません。「忙しくて時間がない」ではなく、「上手に時間を作り出す」ことが大切です。



みんなの15年間の人生の中で、もっとも大切で、もっとも密度が濃く、もっとも厳しい時となるでしょう。大きな壁にぶち当たることもあるかもしれません。

そんなとき、同じく「進路」に向き合っている仲間、支えてくれる保護者の方や先生たちがいることを忘れずに！